

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	障害者就業・生活支援事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援
				課	評価責任者(課長名)
					増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の雇用の促進等に関する法律、堺市障害者就業・生活支援事業実施要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	障害者の就労を進めるうえで、障害者の作業訓練、雇用先の確保や定着支援、また障害者を雇用を検討している企業側へのマッチングや支援が必要であった。このような背景から、平成16年度から障害者の雇用の促進等に関する法律第27条の規定に基づき事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援を必要とする障害者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	障害者の身近な地域において就業面及び生活面における一体的な支援を、必要に応じて雇用や福祉等の関係機関と連携しながら行うことで、障害者の職業生活における自立を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>市内に2か所「堺市障害者就業・生活支援センター」を設置し、就職を希望している障害者からの相談に応じ、対象者の状況に応じた個別支援プログラムを作成し、それに基づき、職業準備訓練や職場実習等のあっせん、必要に応じて職業評価を行うとともに、日常生活上の問題についての助言・指導を行うことで障害者の職業生活における自立を図る。</p> <p>また、就労している障害者を対象に、家庭や職場を訪問し、安定した職業生活を送れるよう職場定着支援を行う。</p> <p>【設置場所】 「エマリス堺」 堺市立健康福祉プラザ内(堺市堺区) 「エマリス南」 堺市南区役所内(堺市南区)</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 特定非営利活動法人 堺市障害者就労促進協会				

Ⅲ. 投入量

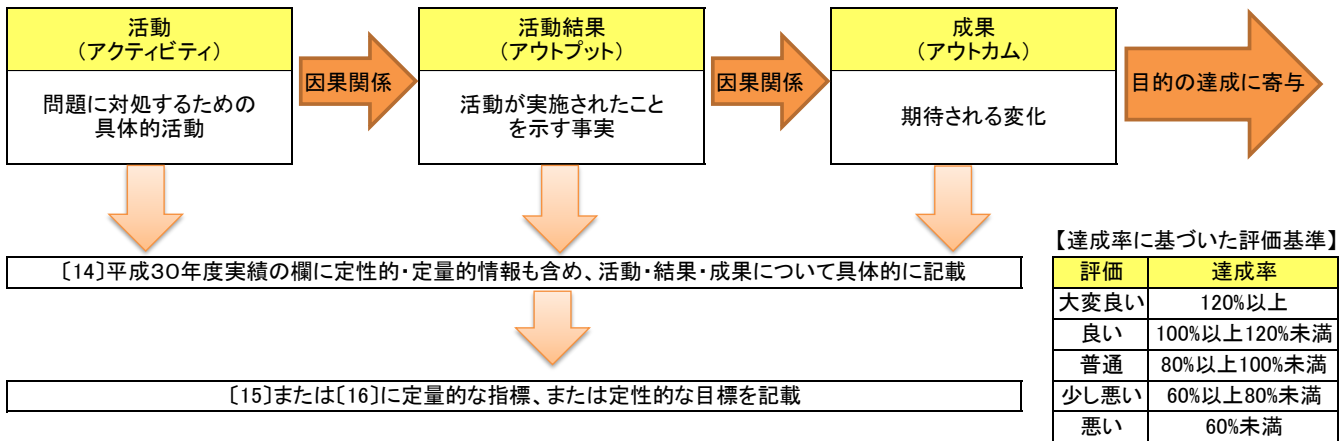
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	45,774	45,774	44,204	44,866	
主な事業費内訳	委託料	千円	45,774	45,774	44,204	44,866
		千円				
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
その他()	千円					
一般財源	千円	45,774	45,774	44,204	44,866	
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	1,620	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	46,594	46,594	45,024	46,486	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害者就業・生活支援事業	シート番号	11-138
-------	--------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>平成30年度は、就労を希望する障害者として新たに152人の新規登録があり、平成31年3月31日現在で計1,237人が登録者として支援を受けている。</p> <p>就労を希望する障害者に対して、相談内容や個々の状況に応じた個別支援プログラムを作成、必要に応じ関係機関と連携しながら就職に向けた支援を行った結果、115件の就職に繋がるとともに、就職に繋がった障害者に対して、職場定着に向けた支援として家庭や職場を訪問したほか、職場での悩み等を話せる場として交流会を開くなど、きめ細かい支援を行った。</p> <p>また、事業主に対しても、障害の特性に応じた対応等をまとめた冊子を作成し、職場訪問時に助言や情報提供を行っている。</p> <p>なお、関係機関との連携として行政機関をはじめ、ハローワーク堺や職業センター南大阪支所などが参加する「運営委員会」や「業務担当連絡会議」なども活用し、情報共有や意見交換を行った。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	新規登録者数(年間)	目標値	人	—	—	—	—
		実績値		109	114	152	
		達成率		—	—	—	
		評価		—	—	—	
	算出方法・設定根拠など		堺市障害者就業・生活支援センターの支援を受けるため、新たに登録手続きを行った人数				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	就職件数(年間)	目標値	件	—	—	—	—
		実績値		64	84	115	
達成率			—	—	—		
評価			—	—	—		
算出方法・設定根拠など		堺市障害者就業・生活支援センターの登録者のうち、一般企業へ就職した人数					

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>平成30年4月に「エマリス南」が南区役所内へ移転し、区役所内にある保健センターや地域福祉課等との連携が、よりスムーズにとれるようになったこともあり、新規登録者数が増えている。就職件数の増加については、平成30年4月から民間企業における障害者の法定雇用率が2.0%から2.2%へと引き上げられたことにより、企業からの求人数が増加したことが一因と考えている。</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。